

令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 国語演習

教科: 国語 科目: 国語演習 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	1組 齋藤	2組 重田	3組 石井	4組 石井	5組 石井	6組 齋藤
使用教科書:	教科書: 探求論理国語(桐原書店)、言語文化(数研出版) 副教材: 重要漢字コレクション(啓隆社)、評論・小説現代文単語(桐原書店)、新訂版現代文読解WORKSレッスン1(尚文出版)、みるみる覚える古典単語300+303訂版(いづな書店)、改訂3訂版完全マスター古典文法(第一学習社)、新成古典(尚文出版)、新版七訂新訂総合国語便覧(第一学習社)					

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に関わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数							
単元 1 評論文の読み方 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 評論文の構成、言葉について理解を深める ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10							
			単元 2 説話・史話を読む 【知識及び技能】 古典に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 作品や文章の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 古文・漢文のきまり、筆者の心情や主張の理解 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などのについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。		○	○	○	10			
							定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説		○		○		1
							単元 3 科学と人間 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 「物心二元論」「近代」について理解し、認識を深める ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。		○	○	○
単元 4 日本の随筆・中国の思想(1) 【知識及び技能】 古典に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 作品や文章の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 古文・漢文のきまり、筆者の心情や主張の理解 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などのについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の理解や解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				○					○	○	10
			定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説		○	○					1		

令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 国語演習

教科: 国語 科目: 国語演習 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年

教科担当者:	1組 齋藤	2組 重田	3組 石井	4組 石井	5組 石井	6組 齋藤
使用教科書:	教科書: 探求論理国語(桐原書店)、言語文化(数研出版) 副教材: 重要漢字コレクション(啓隆社)、評論・小説現代文単語(桐原書店)、新訂版現代文読解WORKSレッスン1(尚文出版)、みるみる覚える古典単語300+303訂版(いわずな書店)、改訂3訂版完全マスター古典文法(第一学習社)、新成古典(尚文出版)、新版七訂新訂総合国語便覧(第一学習社)					

教科	国語	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を遣って積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。	

科目	国語演習	の目標:			
【知識及び技能】	科学技術に関わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
			○	○	○	
単元 5 自己と他者・日本の近代 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 自己認識について理解し、認識を深める	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				10
【思考力、判断力、表現力】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元 6 歴史物語・中国の思想(2) 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化の関係について理解することができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 古文のきまり、人物の心情や筆者の主張の理解	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化の関係について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】 作品や文章の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の理解や解釈を深めている。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説			○	○		1
単元 7 自己と他者・人間・文学 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 人間と文学、表現について認識を深める	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				10
【思考力、判断力、表現力】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 事例に則して内容を正確に読み取り、論点や要点を把握し、内容や書き手の意図を解釈・評価し、考えを深めることができる。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元 8 物語・中国の思想(3) 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化の関係について理解することができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 古文・漢文のきまり、登場人物の行動と動機の理解	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化の関係について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	・一人1台端末の活用(場面) 意見の発表や交換等	【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説			○	○		1

令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 国語演習

教科： 国語 科目： 国語演習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	1組 齋藤	2組 重田	3組 石井	4組 石井	5組 石井	6組 齋藤
使用教科書：	教科書：探求論理国語（桐原書店）、言語文化（数研出版） 副教材：重要漢字コレクション（啓隆社）、評論・小説現代文単語（桐原書店）、新訂版現代文読解WORKSレッスン1（尚文出版）、みるみる覚える古典単語300+303訂版（いづな書店）、改訂3訂版完全マスター古典文法（第一学習社）、新成古典（尚文出版）、新版七訂新訂総合国語便覧（第一学習社）					

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を遣って積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 国語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に関わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 9 言語と貨幣・共同体 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 社会と科学について認識を深める ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用（場面） 意見の発表や交換等	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				10
単元 10 古文評論・史話 【知識及び技能】 古典に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会と関わろうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 古文・漢文のきまり、筆者の主張の理解 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用（場面） 意見の発表や交換等	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 古典世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などのについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて主体的かつ積極的に取り組んでいる。				10
単元 11 【知識及び技能】 ・指導事項 【思考力、判断力、表現力】 ・教材 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用（場面）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用（場面）	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力、人間性等】				
単元 12 【知識及び技能】 ・指導事項 【思考力、判断力、表現力】 ・教材 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用（場面）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用（場面）	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査（学年末考査）/返却と解説						1